



---

はじめに

**STMicroelectronics STM32-L1編**

**NUCLEO-L152RE**

**STM32L152C-DISCOVERY**

**STM32L152D\_EVAL**

**STM32L100C-DISCOVERY**

## 1. はじめに

このたびは、eForce製品をご試用頂きありがとうございます。

本書は、STMicroelectronics 社の NUCLEO-L152RE, STM32L152C-DISCOVERY, STM32L152D\_EVAL, STM32L100C-DISCOVERY に対応しており評価版パッケージの制限事項、インストール手順について説明いたします。

なお、 $\mu$ C3/Compact(RTOS) の詳細については、評価版のインストール後、Document フォルダにインストールされるユーザズガイドを参考にして下さい。

### 制限事項

本評価版は NUCLEO-L152RE, STM32L152C-DISCOVERY, STM32L152D\_EVAL, STM32L100C-DISCOVERY 上での試用を対象としています。収録されているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。本評価版は製品版とは異なり、カーネルのソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

#### ・ ID 数の制限 (RTOS)

ユーザーには見えない RTOS 内部で使用する ID も含め、すべてのオブジェクト ID をユニークな 8bit の値で管理しています。その ID 総数は、次の式で計算され、製品版では 512 ですが、評価版では 16 に制限されています。

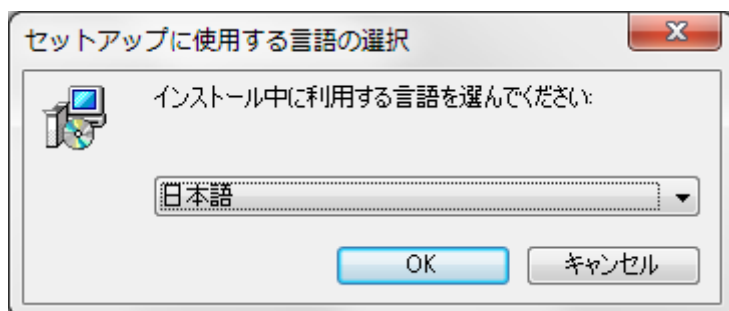
	タスク優先度上限
	共有スタックの個数
	タスクの個数
	セマフォの個数
	イベントフラグの個数
	メールボックスの個数
	データキューの個数の 2 倍
	固定長メモリプールの個数
+)	周期ハンドラの個数
<hr/>	
ID 総数	

本評価版を使用するにはIARシステムズ社のコンパイラとデバッガが別途必要です。

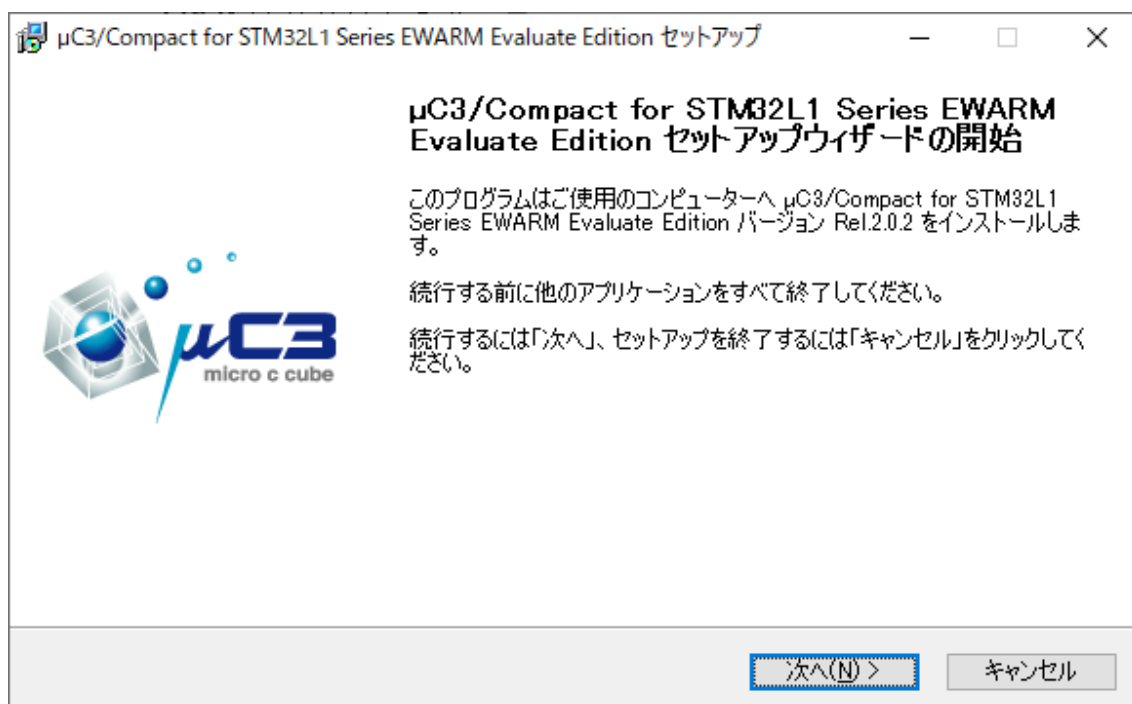
## 2. インストール

### μC3/Compact評価版の時

**uC3CmpEva\_STM32L1\_EWARM\_Rxxx.exe<sup>1</sup>** を実行し画面に従いプログラムをインストールします。最初に下記メッセージが表示されるので、インストール時の言語を選択し、OKをクリックします。



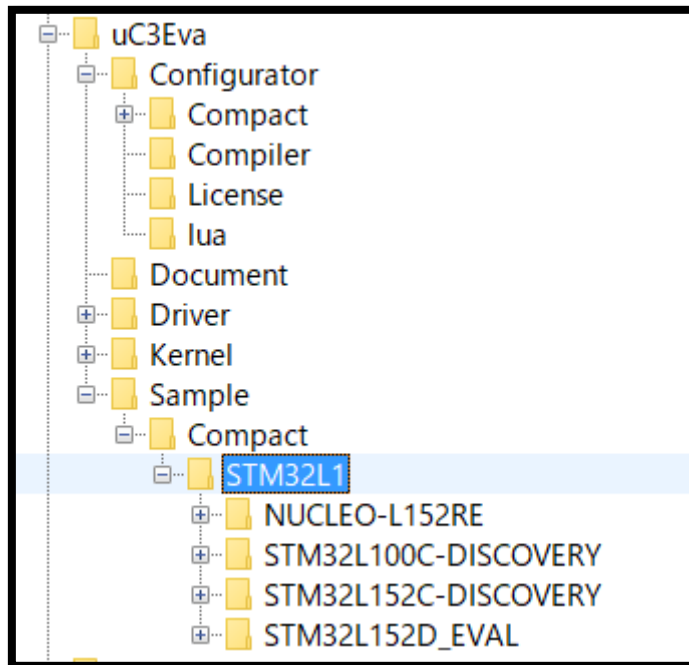
下記メッセージでOKをクリックし、その後画面のメッセージに従いインストールを実施します。




<sup>1</sup> ターゲットコンパイラ毎に評価版インストーラを用意しています。本書では IAR システムズ社コンパイラ向けを例としています。

## フォルダ構成

インストールが完了すると、以下のフォルダ構成となります。



## コンフィグレータの起動

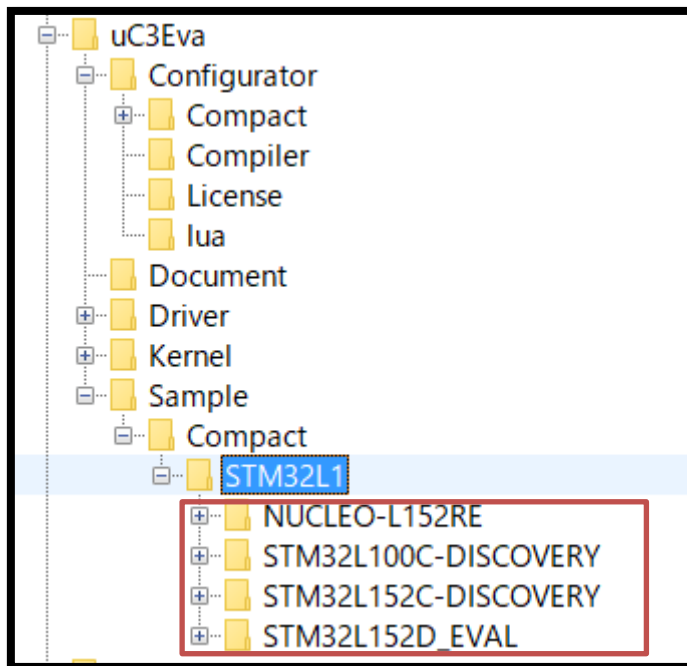
μ C3/Compactでは、RTOSやTCP/IPプロトコルスタックのコンフィグレーションが簡単に行えるようにGUIのコンフィグレータが付属しています。インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選択した場合は、デスクトップに作成されたのアイコンを実行すると、μ C3コンフィグレータが起動されます。

または、直接「¥uC3Eva¥Configurator¥Configurator.exe」を起動してください。

## サンプルプログラムの実行

μ C3/Compact では、評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。サンプルプログラムの実行方法は、**チュートリアルガイド**を参考にして下さい。この文書は、コンフィグレータのメニューから「ヘルプ」⇒「ヘルプの表示」で参照することができます。

各評価ボードのサンプルプログラムは、パッケージをインストールした **Sample<sup>2</sup>**フォルダにあります。



---

<sup>2</sup> 収録サンプルは使用される評価版毎に異なります。